

授業概要

パーソナリティが心理学でどのように取り扱われてきたか、その歴史をふまえた上で、パーソナリティについての基本的な知見を概説的に講義する。

類型論や特性論といったパーソナリティに関する諸理論、パーソナリティの測定法、知能といったパーソナリティと関連する概念、パーソナリティの発達について扱う。

授業計画

第1回	パーソナリティとは
第2回	パーソナリティ心理学の研究史
第3回	パーソナリティの諸理論（1）：学習理論
第4回	パーソナリティの諸理論（2）：類型論／特性論
第5回	パーソナリティの諸理論（3）：精神分析理論
第6回	パーソナリティ理解の方法
第7回	パーソナリティと知能
第8回	パーソナリティと自己認知
第9回	パーソナリティと他者認知
第10回	パーソナリティとステレオタイプ
第11回	パーソナリティと健康
第12回	パーソナリティの発達（1）：青年期まで
第13回	パーソナリティの発達（2）：成人期以降
第14回	パーソナリティの一貫性
第15回	まとめ
第16回	テスト

到達目標

パーソナリティについての基本的な知識を習得し、社会の中で使われているパーソナリティという概念の独自性について理解する。

履修上の注意

授業中は積極的な発言が望まれる。また授業の内容に応じて、小グループでの実験、質問紙調査の体験なども適時行う予定である。

予習復習

講義で扱った内容と、自分の日々の生活上の出来事との関連を考える。

評価方法

リアクションペーパーの内容（20%）、受講態度（10%）、テストの結果（70%）を合わせて、総合的に評価する。

テキスト

特に指定しない。

随時資料を配布し、参考文献はその都度紹介する。